

2020年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | |
|-------------|---|-------------------|----------------------------------|
| 科目名(英) | 社会参画実習1 (Practice in Social Participation 1) | | |
| ナンバリングコード | A10202 | 大分類 / 難易度 科目分野 | 教養基礎科目 / 基礎レベル 人間力コア科目/キャリア科目 |
| 単位数 | 1 | 配当学年 / 開講期 | 1年 / 後期 |
| 必修・選択区分 | 必修 | | |
| 授業コード | A031087 | クラス名 | 0 |
| 担当教員名 | 三宅 裕介 | | |
| 履修上の注意、履修条件 | <p>人間力の育成、地方創生の理解、就職に重要な科目ですので、積極的に受講して下さい。担任制の授業です。12月21日の成果発表会には必ず出席して下さい。正当な理由がなく欠席した場合は、単位認定されないことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間力を養う上で大切な授業となりますので、無遅刻・無欠席で受講して下さい。 ・ワークショップ時は、ディスカッションや作業などに積極的に参加して下さい。受け身の姿勢では意味がありません。 ・ワークショップでの成果の善し悪しは問いません。過程を重視します。そのため、出席するだけでは単位修得できません。 ・週によっては授業時間内に講義室外へ出る場合がありますので、絶対に遅刻をしないで下さい。また、ワークショップで講義室外へ出るときは、担当教員の許可を得るとともに、安全に注意して下さい。 | | |
| 教科書 | 知へのステップ 第5版 一大学生からのスタディ・スキルズー (くろしお出版)学習技術研究会 編著 ※ 前期使用教科書 | | |
| 参考文献及び指定図書 | なし | | |
| 関連科目 | 社会参画入門、社会参画応用、社会参画実習2、人間力概論ほか、すべての科目 | | |

| ○授業の目的・概要等 | | | | | | | |
|------------------|---|-----------|---------|----------------|-----------|-----------------|----------------|
| 授業の目的 | <p>社会や企業では、様々な価値観・キャリアを持った人々が連携・協力、意見を交わしながら、仕事を進めたり、問題解決したりするのが通常です。本実習では、チーム活動を行い、社会・地域で必要な人間力、社会人基礎力(特にチームで働く力の基礎)＝ジェネリックスキルの向上を図ることを目的に、地方自治体(大分県、大分市)の身近な政策課題に対してチームで課題の整理や根拠のある提案などに取り組みます。本実習を通じて、人間関係形成能力を確固たるものにしていきます。</p> | | | | | | |
| 授業の概要 | <p>効果的にジェネリックスキル(コンピテンシー能力、リテラシー能力)を高めるため、ワークショップを8回実施(発表等を含む)します。</p> <p>ここでは、地方創生をテーマに、提示された地方自治体の政策から興味のある政策を選択し、自分たち若者が政策により関わっていくための具体的な提案をチームで行います。活動を通じた他人との関わりによってコミュニケーション能力を向上させたり、ワークショップをスムーズに進めるための役割分担や時間管理による規律性などを向上し、コンピテンシー能力の向上を図ります。また、自治体の政策や若者の関わりについて、現地調査や図書館・インターネットでの情報収集、情報分析を行い、政策提案する前提となる課題を発見します。その上で実行可能な提案を考え、それを企画書及び最終発表によるプレゼンテーションにつなげリテラシー能力の向上を図ります。</p> | | | | | | |
| 授業の運営方法 | <table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「演習等形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「複数クラス方式」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>PBL(プロジェクト型授業)</td> </tr> </table> | (1) 授業の形式 | 「演習等形式」 | (2) 複数担当の場合の方式 | 「複数クラス方式」 | (3) アクティブ・ラーニング | PBL(プロジェクト型授業) |
| (1) 授業の形式 | 「演習等形式」 | | | | | | |
| (2) 複数担当の場合の方式 | 「複数クラス方式」 | | | | | | |
| (3) アクティブ・ラーニング | PBL(プロジェクト型授業) | | | | | | |
| 地域志向科目 | カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目 | | | | | | |
| 実務経験のある教員による授業科目 | 該当しない | | | | | | |

| ○成績評価の指標 | | ○成績評価基準(合計100点) | | |
|-------------------|--|---------------------|-------------------|------------------|
| 到達目標の観点 | 到達目標 | テスト (期末試験・中間確認等) | 提出物 (レポート・作品等) | 無形成果 (発表・その他) |
| 【関心・意欲・態度】 | ①地域への関心:地方自治体の身近な政策に関心を持ち、自分事にてできる。 ②チーム活動:チーム活動に取り組むことができ(主体性)、自分の役割を果たすことができる(状況把握力)。 ③時間管理:ほぼ無遅刻、無欠席で授業に参加できる(規律性)。 | | 10点 | 20点 |
| 【知識・理解】 | ①情報分析力:収集した情報を分析し、必要な知識を抽出し、理解できる。 | | 5点 | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | ①コミュニケーション力:チームのメンバーと話し、自分の意見を理解してもらうことができる(発信力)。また、相手の話や意見を聴くことができる(傾聴力)。 ②プレゼンテーション力(情報スキル、発信力):自分の責任範囲の発表ができる。 | | 20点 | 15点 |
| 【思考・判断・創造】 | ①情報収集力:インターネット等を用いて情報を収集できる。 ②課題発見力:収集した情報を分析し、テーマの問題点や課題を見つけることができる。 ③文章力:自分の責任範囲の成果が記述できる。 | | 30点 | |

| ○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) | |
|--|--|
| ・学修ポートフォリオ【評価シート(事前・事後)、活動記録シート】の書き込み状況を到達目標基準(ルーブリック)に基づき評価します。(40点) ・最終成果発表会のパワーポイント資料、企画書を到達目標基準(ルーブリック)に基づき評価します。(チーム評価&個人評価で25点) | |
| ※評価レベル毎の到達目標基準(ルーブリック)は、授業内で配付する本科目の「学修ポートフォリオ」を参照して下さい。 ・最終成果発表会のプレゼンテーションを到達目標基準(ルーブリック)に基づき評価します(チーム評価&個人評価で10点)。 ・授業に欠席したり遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。(15点) ・チーム内でのコミュニケーションに積極的に取り組んだ場合、評価の対象とします。(10点) ※評価レベル毎の到達目標基準(ルーブリック)は、授業内で配付する本科目の「学修ポートフォリオ」を参照して下さい。 | |

| ○その他 | |
|--|--|
| <p>ワークショップでは、成果物としてチームで企画書(レジュメ)の提出と最終の口頭発表を求めます。企画書作成方法など不明な点は、授業時間外でも都合の良い時間に遠慮なく質問して下さい。また、授業時間外の企画書・パワーポイント作成、ワークショップなどは、人間力育成センター多目的ルーム(1号館1階)やアクティブラーニング室(4号館1階)などの学内施設を活用して下さい。</p> <p>都合により、授業の順序、進度が異なる場合があります。</p> | |

2020年度 授業シラバスの詳細内容

| ○授業計画 | 科目名：社会参画実習1 (Practice in Social Participation 1) 担当教員：三宅 裕介 | 授業コード：A031087 |
|--|--|---------------|
| 学修内容 | | |
| 1. 担任授業(1) ■ガイダンス ■担任活動 ■履修再指導 | | |
| 予習：シラバスを熟読し、授業の目的、概要等を理解する。履修登録内容の確認。 | | (約2.0h) |
| 復習：履修登録の確定 | | (約1.0h) |
| 2. 担任授業(2) ■プレゼンテーションの基本スキル | | |
| 予習：教科書第11章の予習 | | (約1.0h) |
| 復習：教科書第11章の復習 | | (約1.0h) |
| 3. 担任授業(3) ■わかりやすいプレゼンテーションのために | | |
| 予習：教科書第12章の予習 | | (約1.0h) |
| 復習：教科書第12章の復習 | | (約1.0h) |
| 4. ワークショップの概要説明 ■地方自治体(大分市等)の政策 ■ワークショップの概要 ■課題テーマ出題 | | |
| 予習：大分市・県の政策課題を調べる | | (約1.0h) |
| 復習：配付資料の復習 | | (約1.0h) |
| 5. 担任授業(4) ■テーマ選択 ■班編成 ■事前評価シート記入 ■情報収集方針の確認 | | |
| 予習：情報収集 | | (約2.0h) |
| 復習：報告書記載内容の整理 | | (約1.0h) |
| 6. ワークショップ(1) ■情報共有 ■活動方針決定 ■役割分担の決定 | | |
| 予習：情報の整理及び追加収集 | | (約2.0h) |
| 復習：報告書記載内容の整理 | | (約1.0h) |
| 7. 大分県・市出張講義 ■出張講義の受講 | | |
| 予習：情報の分析及び追加収集 | | (約2.0h) |
| 復習：報告書記載内容の整理 | | (約1.0h) |
| 8. ワークショップ(2) ■フィールドワーク(情報収集) | | |
| 予習：情報の分析及び追加収集 | | (約2.0h) |
| 復習：報告書記載内容の整理 | | (約1.0h) |

| ○授業計画 | 科目名：社会参画実習1 (Practice in Social Participation 1) 担当教員：三宅 裕介 | 授業コード：A031087 |
|---|--|---------------|
| 学修内容 | | |
| 9. ワークショップ(4) ■情報分析・課題発見 ■企画アイデア整理 ■中間報告 | | |
| 予習：企画の整理及び追加情報収集 | | (約2.0h) |
| 復習：報告書記載内容の整理 | | (約1.0h) |
| 10. ワークショップ(5) ■企画の方向性の決定 ■情報再分析・課題整理 ■企画書の作成 ■口頭発表準備(パワーポイントの作成) | | |
| 予習：企画書・パワーポイントの作成 | | (約2.0h) |
| 復習：報告書記載内容の整理 | | (約1.0h) |
| 11. ワークショップ(6) ■企画書の作成・提出 ■口頭発表準備(パワーポイントの作成・発表練習) | | |
| 予習：パワーポイントの作成、発表練習 | | (約2.0h) |
| 復習：報告書記載内容の整理 | | (約1.0h) |
| 12. 成果発表会(12月21日) ■全チームによる成果発表会 ■代表チームの選出 | | |
| 予習：発表練習 | | (約2.0h) |
| 復習：報告書記載内容の整理 | | (約1.0h) |
| 13. 全体成果発表会【全体授業】 ■代表チームによる発表 | | |
| 予習：発表内容の修正、発表練習(代表チーム) | | (約2.0h) |
| 復習： | | |
| 14. プレースメントテスト ■プレースメントテスト ■社会人基礎力自己評価 | | |
| 予習： | | |
| 復習：報告書記載内容の整理 | | (約1.0h) |
| 15. 担任授業(5) ■振り返り ■振り返りシートの記入 ■面談 ■受講アンケート | | |
| 予習： | | |
| 復習：報告書記載内容の整理 | | (約1.0h) |
| 16. | | |
| 予習： | | |
| 復習： | | |